

好奇心や探究心を引き出す
生活科と総合的な学習の時間の単元づくり・授業づくり

令和6年8月1日（木）へきしんギャラクシープラザ

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官
齋藤 博伸

（ポイント）

各教科のペーパーテスト調査の結果から（資料2-2参照）

- 「知識・技能」について、事実的な「知識」は一定程度の定着が見られるものもある一方、「知識」の概念としての習得や、習得した「知識」を日常生活に当てはめたり、現実の事象と関連づけて理解することには一部に課題があると考えられる。
- 「思考力・判断力・表現力等の育成」の観点から、例えば児童が具体的な問いを見いだす点等については、定着が見られるものもあると考えられる一方、目的に応じた課題解決、自分の考えや根拠を明確に説明するといった点については、課題があると考えられる。

生活、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動のアンケート調査の結果から（資料2-2参照）

- アンケート調査では、学習状況や学校生活等について概ね肯定的な回答が多く見られるが、同様の趣旨の項目において、教師の認識と児童の受け止めに差があるなど、課題が一部で見られる。

教育課程全体に係るアンケート調査（資料2-3参照）

- 主体的・対話的で深い学びや、資質能力の3つの柱、見方・考え方などの学習指導要領が提唱する基本的な考え方については、現場の教育課程や学習指導の改善等に良い効果を与えたとの回答が多く見られる。
- 学習指導要領の趣旨実現を妨げる要素としては、多忙化や人員確保、研修時間の確保などの回答が多い。
- 標準授業時数について、教育課程編成に係る学校の裁量を広げることについては、多くの学校が賛成。年間授業時数を確保した上で、教科間の授業時数の調整を可能とするような取組を行ってみたいとする学校が多い。

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について（生活科）－質問調査版－

【速報版】

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 具体的な活動や体験を通じて、「身近な生活に関する見方・考え方」を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを明確化した。
- 入学当初において、生活科を中心とした合科的・関連的な指導などの工夫（スタートカリキュラム）を行うことを明示した。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現する生活科の特質を踏まえた授業の質問への肯定的な回答は95%を上回っており、着実に実施されている。
- 幼稚園や保育所等と連携しながらスタートカリキュラムの作成を行うことは、前回調査の類似質問の結果と比べて改善傾向がみられるが、他の質問と比較して肯定的な回答は61.6%と低い傾向にある。
- 他教科等との関連を図った授業や中学年の各教科等への接続を意識した授業に関する質問への肯定的な回答は85%を上回っているが、「行っている」という回答は30%を下回っており他の質問と比較して低い傾向にある。
- 児童の興味・関心を生かして資質・能力を身に付ける授業が展開されている傾向が見られるが、「生活や出来事の伝え合い」においては、児童の興味・関心、児童の身に付けやすさ、共に80%を下回っている。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・スタートカリキュラムの充実を引き続き促すとともに、低学年における教育課程全体を充実するために、生活科と他教科等との関連を積極的に図るとともに、中学年以降の教育への接続を意識することが必要である。
 - ・「生活や出来事の伝え合い」の指導では、他者と進んで触れ合い、継続的に交流する学習活動を充実させることが必要である。

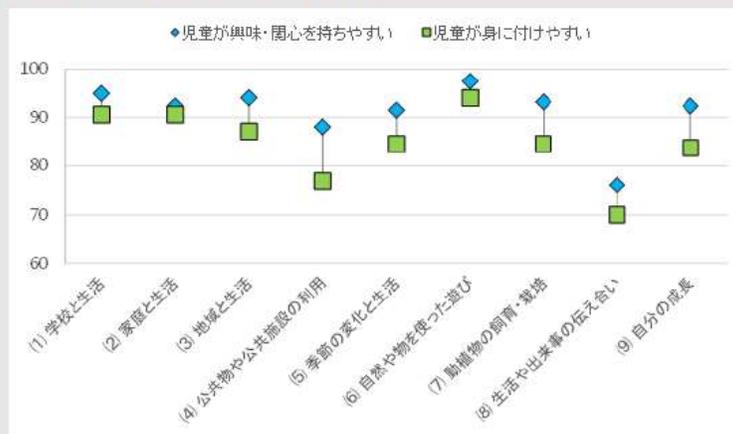
4. 調査結果例（オンライン質問調査 小学校/教師）

スタートカリキュラム作成にあたって、幼稚園・認定こども園・保育所と連携し、接続を意識しながらカリキュラムの作成を行っている。

※H24の類似質問「スタートカリキュラム作成にあたって、幼稚園や保育園と連携協力しながらカリキュラムの作成を行っていますか」との比較。

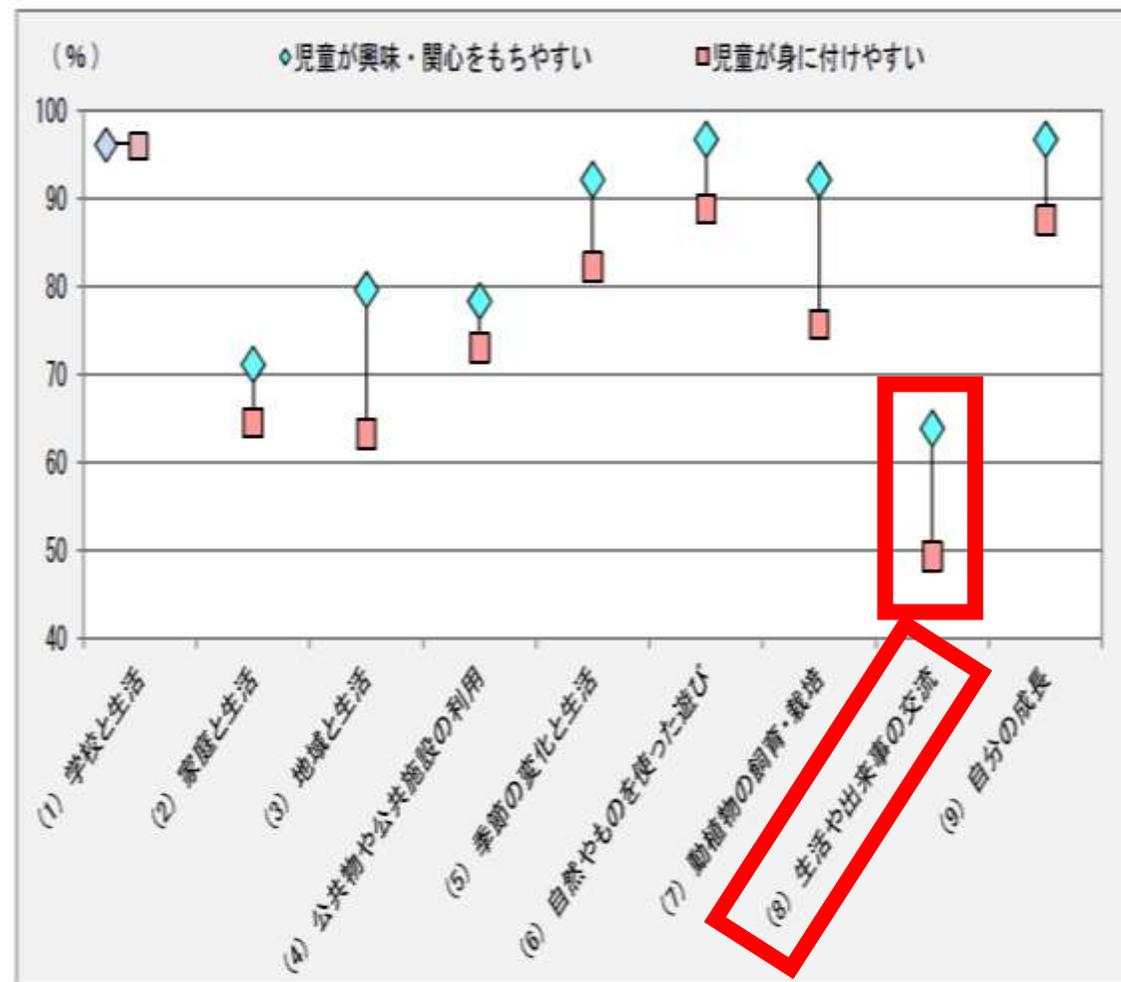


各内容に対する教師の意識





R 4 年度調査



H 2 4 年度調査

令和4年度 小学校学習指導要領実施状況調査の結果について（総合的な学習の時間）—質問調査版—

【速報版】

1. 平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すことを明確化。
- 探究の過程（「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」）のうち、「整理・分析」、「まとめ・表現」に課題が見られたことを踏まえ、言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動（「考えるための技法」の活用を含む。）等を明確化。

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 児童質問紙調査では、前回調査で課題とされていた「整理・分析」「まとめ・表現」は、今回調査では肯定的な回答がそれぞれ70%以上である。
- 「課題の解決に向けて、友達や地域の人と進んで関わっている」ことについて肯定的な回答が70%を下回っており、他より低い傾向にある。
- 教師オンライン質問調査では全体的に肯定的な回答が80%以上であるが、資質・能力の育成に向けた指導計画の位置付けや指導と評価の一体化に関する質問では「そうしている」という回答が30%を下回っている。
- 4年生以上の児童においては、「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程について肯定的に回答している児童と多くの教科のペーパーテストの平均通過率等との相関が見られる。
- 総合的な学習の時間の全質問項目と共通質問における自己肯定感、協働、粘り強く課題に取り組む態度に関わる質問との相関が見られる。

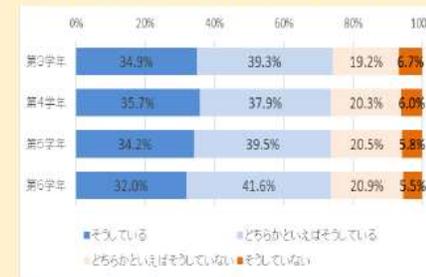
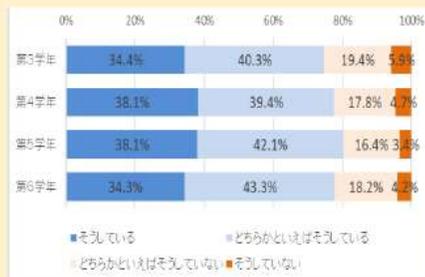
3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・課題の解決に向けて、他者と協働して主体的に学ぶことや、地域と連携した学習活動を積極的に取り入れることを促す。
 - ・よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するために指導と評価の一層の充実を図る。

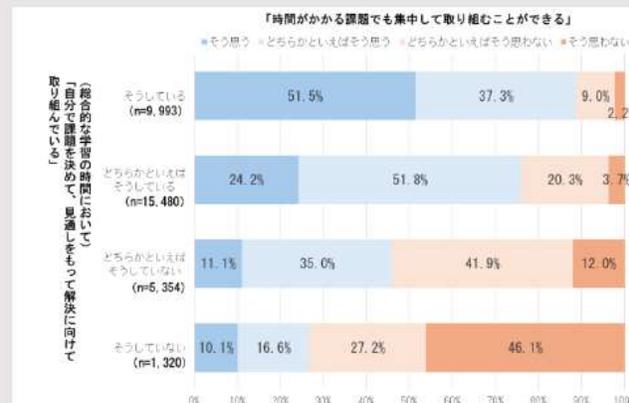
4. 調査結果例（質問調査 小学校/児童）

集めた情報を比べたり、分けたり、つなげたりしながら、整理して考えている。

自分の考えを相手や目的に合わせて、分かりやすくまとめたり発表したりしている。



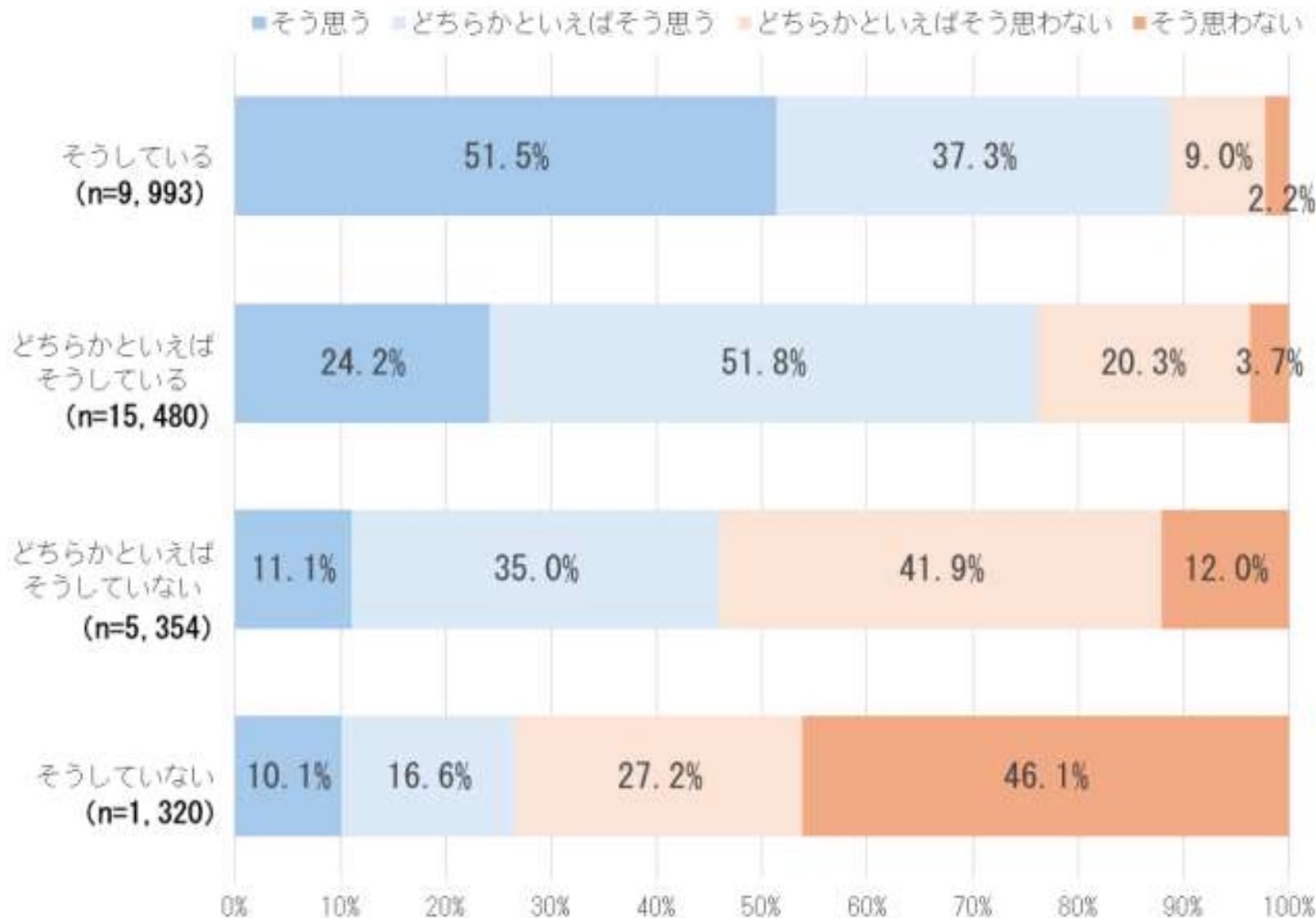
第6学年の総合的な学習の時間の質問と粘り強く課題に取り組む態度に関わる質問との相関※他学年も同様



相関係数
0.50

「時間がかかる課題でも集中して取り組むことができる」

（総合的な学習の時間において）
「自分で課題を決めて、見通しをもって解決に向けて取り組んでいる」



架け橋期のカリキュラム

	3歳	5歳	小1	小2
①期待する 子供像	生活の場の広がり、他者との関係の広がり、興味や関心の広がり、依存から自立へ こうした発達も踏まえた期待する子供像			
②遊びや学びの プロセス	諸感覚を通じた体験 を一つ一つ重ねる	過去の体験のつながり 遊びの中での気づき	自覚的な学び	等
③園で展開される 活動／小学校の 生活科を中心と した各教科等の 単元構成等	遊びを通じた総合的な学び		生活科を中心に合科的・ 関連的な指導	等
④	先生の関わり	幼児と先生との関係を中心としながら 他の幼児との関係が広がっていく	関わりが多様化	等
	環境の構成 環境づくり	先生が各幼児に準備 (安心して遊びに没頭)	自分の思いの実現や遊びの発 展に配慮(自ら、または、 他者とつくる世界を楽しむ)	自分の力で学校生活を送り、 自覚的な学びを生み出すよ うな環境に配慮

自覚的な学びへ（入学当初）

幼児教育と小学校教育が

つながるって
どういうこと？



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youchien/mext_02697.html

小学校
教育

入学当初(4月)の 実践事例

▶ 滋賀県 湖南市立三雲小学校

安心して学校生活を始めるための「スタートカリキュラム」の一つとして、教室の場所・ものの使い方や学校のルールを探究的に学ぶ学校探検の事例

START

▶ もっと友達のことを知りたい!

自分の好きなものを紹介したり、学校で楽しみなことを話したりしながら、友達同士で自然と打ち解けていく



先生の思い・関わり

入学時は「安心感」を大切に、一人ずつ前に出て発言するのではなく、園でなじみのあるサークルタイム形式で話します。

▶ どこを探検しようかな…

「学校にはガイコツがいるんだって!」「楽器がいっぱいあるんだって」入学前から気になっていた疑問を伝え合う



先生の思い・関わり

「園にはどのような場所があったかな?」「園と比べてみて違うかな?」など、子供たちの園での経験を引き出しながら、思いや願いを生かしていきます。

▶ 探検で疑問を解決!

探検で発見したこと、不思議に思ったことを伝え合い、再び探検しながら、解決していく



先生の思い・関わり

発見や不思議を共有することで、新たな気付きや疑問が生まれ、探検を重ねながら解決していきます。

▶ ○○を探検したい!

たくさん出てきた疑問や気付きから「ぼくは…」「私は…」と一人一人の思いや願いの実現に向けて、行きたい場所へ探検に出かけていく



先生の思い・関わり

子供一人一人の思いや願いの実現に向けて、学校を探検するという具体的な活動を通して解決できるようにしていきます。

▶ もっともっと探検したい!

音楽室を探検していたら、終了のチャイムがなってしまい「もっと見たかったな」「次の時間でも、また音楽室を見ようか」とつぶやいている



先生の思い・関わり

子供のつぶやきや思いなどを、全体で共有するなどして、次の活動の「めあて」としていきます。

▶ 友達に伝えたい!
絵でかいてみたい!

学校探検で見付けたものをかき出して、地図に貼り、「名前は分からないけれど、こんなものがあつたよ!」「こんな形をしていたよ!」と集めて整理していく



小学校入学当初のこの時期に、
幼児期の経験を生かして、ここを意識した!!

入学当初は幼児期とできるだけ近い環境を意識しながら、「安心感」をもてるようにすること。

「今までに見たことある?」「園でやったことある?」など幼児期の経験を子供から引き出しながら授業を進めること。

先生が学習内容を一方的に教えるのではなく、子供の「!」「(気付き)」や「?(疑問)」を学校探検という具体的な活動を通して解決できるようにすること。

子供の生活リズムや集中する時間、意識の高まりを大切に、2時間続きの学習活動を位置付けるなどの時間配分の工夫をすること。

【単元名】 うごく うごく わたしのおもちゃ (16時間)

学習の過程

素材遊びをしよう (2)

- ②素材で遊ぶ
- ④伝え合い交流する

動くおもちゃで遊ぼう (3+3)

- ②作って遊ぶ
- ④アイデア交流

動くおもちゃで遊ぼう会 (8)

- ②みんなと遊ぶ
- ④振り返りレポート

おもちゃを作って遊びたいな

- (3)動くおもちゃを作ろう
- (6)もっとよく動くおもちゃにしよう

- (9)どんな「動くおもちゃで遊ぼう会」にしようかな
- ・〇組や一年生と遊びたいな

(1)素材で遊んで、特徴を見付ける

- (4)(5)作ったり遊んだりする
- (7)友達と作ったり遊んだりする

- (9)(10)・(13)遊ぼう会の準備をする
- (11)〇組と遊ぼう会をする

◎体験活動の充実 (身体全体 / 安全・安心 / 自発性・能動性)

- ・ロケットみたいに発射したよ
- ・カエルみたいに跳んだよ
- ・車みたいに走ったよ
- ・カメみたいに動いたよ

- ・面白いね、不思議だね
- ・友達の遊びも楽しそう
- ・もっと動くようにしたい
- ・材料を変えてみよう

- ・笑顔になるようにしたいな
- ・アドバイスしてね
- ・おもちゃセンターは楽しいね
- ・一緒に遊ぶと楽しいね

(2)もっと遊んで、特徴を見付ける

- ・キャップを付けてタイヤにする
- ・大きなくまで強い風にしよう

(8)おもちゃについて発見したことを伝え合う

- (12)〇組と遊ぼう会を振り返る
- (15)1年生と遊ぼう会を振り返る
- (16)学年全体を振り返る

◎表現活動の位置付け

①思いや願いをもつ

②活動や体験をする

③感じる

④行為する

子供観 × 指導観 × 教材観 = 単元・授業づくり

経験



思いや願い



資質・能力



学習過程

ゴム・・・伸びる、跳ぶ、弾く
袋・・・風や空気を集める
ペットボトルキャップ・・・弾く、転がる
乾電池・ラップの芯・・・転がる（転がり方が違う）
ラップ芯など筒状のもの・・・反対側が見える
紙皿・うちわ・段ボール・・・風・空気を送る
紙製のもの・・・風・空気を受けて飛ぶ、動く
トレー容器・・・軽い、重ねる、水に浮く、
プラスチック製のもの・・・水に強い、音が出る

教材研究

● 情報がつながり構造化する

概念的知識を形成する

高齢者と直接関わる中で得られた情報を基に、友達や社会福祉協議会などの職員に次に行う活動について説明する。こうして**高齢者の身体的・心理的特徴や個別性をなどを理解していく。**

● 多様な情報を収集する

異なる場面や状況でも活用できる

イベント実施の効果について、アンケート調査結果を基に話し合う場合、**他者からの多様な情報を数値化、言語化して収集する。**それを整理・分析することで参加者の意識の変化や世代による違いなどがあることも理解していく。

● 新たな知を創造し解決に向けて行動化する

継続的・安定的な態度となる

地域の課題解決のために地域の企業と連携・協働する場合、問題状況や解決策を共有し、実現可能な取組を検討する中で、新しい取組は生まれる。こうした学習過程を通じて、**自分との関わりなどがあることも理解し、未来に向けても、課題解決に主体的に取り組む一員となっていく。**

♥ 子供も教師も楽しいのか。（自発性・能動性／指導性）

「面白そう」「やってみたい」「何とかしたい」

！ 何を学ぶのか。（概念的な知識）

「～が分かった」

☆ 何のために取り組むのか。（地域・社会貢献）

「やってよかった」「これからも～したい」

人 学習協力者は誰か。（地域・専門家との関わり）

中2 運動【健康】

(事例) 国研・評価資料 (高等学校編)

♥ 健康のために運動したいと思ってもらいたい！

♥ 室内の運動を自分で作りたい！

！ インストラクターの言葉による身体の動きや心の変化

☆ 榛東村民の健康寿命を楽しく延ばそう

人 室内の運動の専門家 (認知症カフェのつながり)

検討する視点	♥	子供も教師も楽しいのか。	「面白そう」「やってみたい」「何とかしたい」(自発性・能動性/指導性)
	！	何を学ぶのか。	「～が分かった」(概念的な知識)
	☆	何のために取り組むのか。	「やってよかった」「これからも～したい」(地域・社会貢献)
	人	学習協力者	「○○さんって、すごい」「○○さんのようにしたい」(専門家との関わり)

事例（初等教育資料）

探究テーマ	実践事例（初等教育資料）
国際理解	外国の文化
情報	情報通信と生活
環境	R3.3月（谷・那賀町・那賀川）
福祉	R6.6月（山田・池田市・高齢者サロン） R6.3月（高木・高松市・独居高齢者） R4.2月（後・大阪市・高齢者） R2.2月（湯浅・宮崎市・高齢者） H31.1月（金・附属新潟・地域の茶の間）
健康	健康の保持増進
資源エネルギー	R6.6月（六車・高松市・プラスチック再利用） R5.2月（横田・野田市・服）
安全	防犯・交通など
食	R6.6月（栗木・江戸川区・小松菜） R5.6月（野村・山口附属・未利用ハモ） R5.5月（重松・北川村・ゆず） R3.3月（藤井・南国市・十菜シャモ） H31.1月（浅香・金沢市・加賀野菜）
科学技術	科学技術と生活

探究テーマ	実践事例（初等教育資料）
町づくり	R5.5月（田部・相模原市・バリアフリー） R2.2月（荒木・相模原市・ダイアボアーズサポート）
伝統文化	R4.4月（森・長崎市・郷土カルタ） R3.3月（矢野・大津市・大津祭） R3.3月（下野・新宿区・大久保つつじ）
地域経済	R3.3月（秋元・青森市・青森観光） R2.2月（砂岡・尾道市・尾道PR大作戦） R2.2月（阿部・附属函館・函館観光）
防災	R6.6月（桶・高岡市・防災イベント） R4.4月（丸川・岡山市・防災教室） R3.9月（山下・附属大分・避難所運営）
キャリア	働く人・職業・自分の将来
ものづくり	R4.4月（小原・附属旭川・公園のPR動画） R4.4月（佐藤・渋谷区・渋谷のPR動画） R2.2月（荒木・相模原市・オリジナル駅弁）
生命	生命現象の神秘

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

小学校

生活

令和2年3月

文部科学省
国立教育政策研究所
NEEP
National Institute of Educational Policy Research
教育課程研究センター

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

小学校

総合的な学習の時間

令和2年3月

文部科学省
国立教育政策研究所
NEEP
National Institute of Educational Policy Research
教育課程研究センター

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

中学校

総合的な学習の時間

令和2年7月

文部科学省
国立教育政策研究所
NEEP
National Institute of Educational Policy Research
教育課程研究センター

「指導と評価の一体化」のための
学習評価に関する参考資料

高等学校

総合的な探究の時間

令和3年8月

文部科学省
国立教育政策研究所
NEEP
National Institute of Educational Policy Research
教育課程研究センター





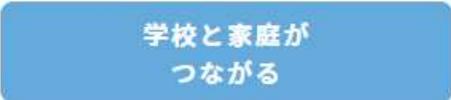
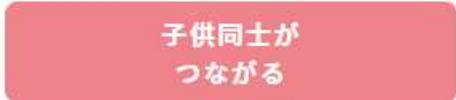
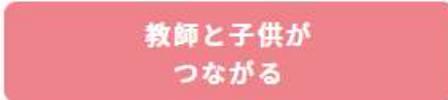
スタディーエックス スタイル

StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ



"すぐにでも" "どの教科でも"
"誰でも"活かせる1人1台端末の活用シーン



すたあと



第1回（放送日：4月4日）

すたあとのうたではじめよう

新しく学校生活をスタートする小学1年生をサポートする番組。今回のテーマは声を出すこと。「すたあとのうたではじめよう」



おばけの学校たんけん



第1回（放送日：4月5日、4月12日）

わくわく学校たんけん

おばけの子どもたちが教室を飛び出して、人間の子どもたちが通う小学校を探検。いろいろな部屋や物を発見し…



教科指導のヒントとアイデア
生活科



ドスルコスル



第17回（放送日：1月27日、2月3日）

どうする？大災害が起きたら

もし大地震、激しい雨、火山の噴火などで大災害が起きたら、どうする？命を守るために必要な3つの助け「…」



地球は放置しても育たない



第1回（放送日：4月6日、4月13日、10月6日、10月13日）

放置しないで！プラスチックごみ問題

【目標14 海の豊かさを守ろう】地球白らが地球の危機を人類に猛烈に訴える番組。今回のテーマは海のプラ…



防災
サバイバー



第5回（放送日：12月6日 午後、12月8日、12月13日 午後、12月15日）

File05 首都直下地震(じしん) 後編

東京・墨田区の児童が挑む「首都直下地震」の脅威。歴史をひもとくと墨田区は100年前の大震災でも甚大な…



NHK地域づくり
アーカイブス

